

平成 28 年第 2 回（6 月）瀬戸内市議会定例会一般質問通告一覧表

| 発言 順序 | 議席番号 氏 名 | 質 問 事 項 | 質 問 の 要 旨 | 答弁を 求める者 |
|----------|-----------------|---------------------|---|----------------------|
| 1 | 3 番 日下俊子 | 1. 福田保育園の拡張について | (1) 詳細と今後のスケジュールは | 市 長 担当部長 |
| | | 2. 公園の整備について | (1) 市内の公園の調査結果は (2) 調査後はどのように進めていくのか (3) 市内に様々な公園や遊園地があるが、まず、市として統一的な公園の体系を整備する必要があるのではないか | 市 長 担当部長 |
| | | 3. 有害鳥獣対策について | (1) 瀬戸内市鳥獣被害防止計画が改訂されたが、その内容は (2) 鳥獣被害防止対策協議会が設置されたが、その詳細は。また、本協議会の設置により、市民にはどのようなメリットがあるのか (3) 鳥獣被害対策実施隊の設置について、進捗状況と今後のスケジュールは | 市 長 担当部長 |
| 2 | 9 番 竹原 幹 | 1. 自治組織のあり方について | (1) 町内会への加入状況は。また、未加入者が増えていると考えるが、影響等をどう認識しているのか。そして、その対策は (2) 地縁団体の一般的呼び名として、町内会・町内会長に統一すべきでは (3) 地域自治組織、地域一括交付金制度の導入を検討する前に、行政委員などの身分は見直すべきでは | 市 長 副 市 長 担当部長 |
| | | 2. 国道 2 号とまちづくりについて | (1) 市のまちづくりの中で国道 2 号の位置づけは | 市 長 |

| 発言 順序 | 議席番号 氏 名 | 質 問 事 項 | 質 問 の 要 旨 | 答 弁 を 求 め る 者 |
|----------|--------------|---------------|--|-------------------------|
| 3 | 8 番 河本裕志 | 1. 危機管理について | <p>(1) 災害発生後、直ちに被災者を救護・支援し、迅速かつ的確な復旧・復興作業をするために、熊本地震を教訓に行政の考えを問う</p> <p>① 消防本部の通信システムがダウンすることが想定されるが、その対策はとれているか</p> <p>② 被災者支援システムを導入して、その後は</p> <p>③ 罹災証明を発行するためには、被災建築物の危険度判定が必要だが、民間の技術者の協力を考えては</p> <p>④ 仮設住宅を設置できる場所は考えているのか</p> <p>⑤ 大規模災害時には職員も被災する可能性があるが、職員を招集できるのか</p> <p>(ア) ノーマイカーデーを職員招集訓練に活用しては</p> <p>(イ) 被災者が学校へ避難して来る可能性がある。職員等の招集困難が想定されるが対応策は。また、避難所として指定していない公共施設や開設していない避難所に避難してくる可能性があるが、その対応策は</p> <p>⑥ 通電火災防止感震ブレーカーの設置を推進しては</p> <p>⑦ 非常食や水等の備蓄状況は</p> | 市 長 教 育 長 担 当 部 長 |
| | | 2. ペットについて | <p>(1) 担当課への苦情はどのくらい来ているのか</p> <p>(2) ふんや尿による害について瀬戸内市環境美化条例ではどのように定めているのか</p> <p>(3) 関係機関との協力体制や啓発活動の状況はどうか</p> | 市 長 担 当 部 長 |
| 4 | 12 番 原野健一 | 1. 旧牛窓診療所について | <p>(1) 旧牛窓診療所の建物を今後どうするのか。牛窓地域のためにも医療施設としてではなく、他の用途として活用する考えはないのか</p> | 市 長 副 市 長 担 当 部 長 |

| 発言 順序 | 議席番号 氏 名 | 質 問 事 項 | 質 問 の 要 旨 | 答弁を 求める者 |
|----------|--------------|--|---|-----------------------|
| 6 | 18 番 日下敏久 | 1. 国が策定した認知症施策推進 総合戦略（新オレンジプラン） について | (1) 柱となる事業としての認知症初期集中支援チームの設置や体制 づくりは進んでいるのか | 市 長 副 市 長 担当部長 |
| | | 2. 幼児期教育の格差について | (1) 幼稚園にはALT（外国語指導助手）の派遣をしているが、保 育園への派遣は考えないのか | 市 長 教 育 長 担当部長 |
| | | 3. 市長選挙について | (1) 公職選挙法第 34 条の 2 の 90 日特例の規定を適用して、市議会 議員選挙と同日選挙を考えては | 市 長 選挙管理委員会 委員長 |
| | | 4. 安全・安心のまちづくりにつ いて | (1) 梅雨の時期であるが、通学路、生活道路、水路の点検・整備状 況は (2) 保育園、幼稚園、小学校、中学校、公園での遊具の安全点検、 故障の状況は | 市 長 教 育 長 担当部長 |
| | | 5. 中学校での部活動について | (1) 先生方の労働環境、処遇の状況は | 市 長 教 育 長 担当部長 |
| 7 | 5 番 森 俊之 | 1. 市道錦海師楽線の周辺整備に ついて | (1) 市道錦海師楽線のいわゆる入口・出口周辺の整備計画はどう考 えているか (2) 師楽地区から山を越えて南側に行く路線について、どのように 自動車を誘導していく計画なのか。また、道路を整備する計画 はあるか (3) 小・中学生の通学路の安全確保についてどのような対策を考 えているか | 市 長 担当部長 |

| 発言 順序 | 議席番号 氏 名 | 質 問 事 項 | 質 問 の 要 旨 | 答弁を 求める者 |
|----------|-------------|---------------------|---|---------------------------------|
| | | 2. 沿岸部排水計画の策定について | (1) 今後のスケジュールは (2) 計画策定後、その実施についての考え方は | 市 長 担当部長 |
| | | 3. 公共交通網形成計画について | (1) 詳細な計画を策定するための地区別のニーズ聞き取り調査の実施スケジュールは (2) 公共交通不便地域と市中心部間の移動の利便性向上に偏りすぎ、各地域内移動についての視点が欠けていないか (3) 瀬戸内市公共交通会議での議論をより活性化させる必要があるのでは | 市 長 副 市 長 病院事業管理者 担当部長 |
| 8 | 2 番 高間直美 | 1. 女性が活躍できる瀬戸内市について | (1) 男女共同参画の現状は (2) 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）への対応は (3) 推進体制の整備は | 市 長 副 市 長 教 育 長 担当部長 |
| | | 2. 防災について | (1) 各地域で行っている防災研修の現状は (2) 幼児期からの防災に対する啓発が必要では (3) 「瀬戸内市家族防災会議の日」を制定し、PRしては (4) 自助が困難な障がい者等の支援体制を整備しては | 市 長 教 育 長 担当部長 |

| 発言 順序 | 議席番号 氏 名 | 質 問 事 項 | 質 問 の 要 旨 | 答弁を 求める者 |
|----------|--------------|---------------------|---|----------------------|
| 9 | 11 番 島津幸枝 | 1. 安全・安心の住宅施策について | (1) 瀬戸内市耐震改修促進計画について問う ① 住宅の耐震化率と平成 28 年度からの新計画での目標耐震化率は ② 耐震診断、耐震改修工事の促進をどう図るのか (2) 家庭でできる地震対策の周知徹底を図るべきでは (3) 三世帯同居等推進リフォーム補助金の実績は。また助成内容を拡充してはどうか (4) 住宅セーフティネット機能の強化にどう取り組むか | 市 長 副 市 長 担当部長 |
| | | 2. 新火葬場整備について | (1) これまでの岡山市との協議内容は (2) 今後のスケジュールは (3) 新火葬場整備計画の遅れにより、事業費への財源充実に影響は出ないのか (4) 事業費の内訳は | 市 長 副 市 長 担当部長 |
| 10 | 4 番 布野浩子 | 1. 地域産業創出総合対策事業について | (1) 事業の実施に必要な体制の整備はどのようにするのか (2) 瀬戸内市振興公社の役割は (3) もっと 6 次産業化が進むように農工商連携の場をつくってはどうか | 市 長 副 市 長 担当部長 |
| | | 2. 鳥獣被害対策について | (1) 鳥獣被害防止対策協議会が立ち上がったが、今後の予定は (2) 里山を整備してはどうか | 市 長 副 市 長 担当部長 |
| | | 3. 地域一括交付金について | (1) 進捗状況は (2) モデル地域を定めて先行的に取り組んではどうか (3) 事業の推進には地域リーダーが必要であると考え、どのように養成するのか | 市 長 副 市 長 担当部長 |

| 発言 順序 | 議席番号 氏 名 | 質 問 事 項 | 質 問 の 要 旨 | 答弁を 求める者 |
|----------|--------------|--------------------------|--|----------------------|
| 11 | 16 番 小谷和志 | 1. 空き家対策について | (1) どのような状態が空き家であると認識しているか (2) 倒壊しそうな空き家に対して今後の対策は (3) 活用できる空き家の把握と活用への対策は | 市 長 副 市 長 担当部長 |
| | | 2. 耕作放棄地及び周辺地の対策 について | (1) 耕作放棄地の把握状況は (2) 耕作放棄地の活用策は | 市 長 副 市 長 担当部長 |
| | | 3. 高齢者世帯の生活支援につい て | (1) ひとり暮らしや高齢者世帯の把握状況は (2) 高齢者世帯への生活支援策は | 市 長 担当部長 |
| 12 | 7 番 厚東晃央 | 1. 国民健康保険について | (1) 平成 30 年度から国民健康保険が岡山県全体で統一されるが、保 険料(税)の決定や保険料(税)の徴収、未納者への対応、保険事 業などは市が現状のまま行う方向が示されている。市としての 対応策は (2) 市民の願いである国民健康保険税の引き下げにこたえるべきで はないか | 市 長 担当部長 |
| | | 2. 子育て環境について | (1) 福田保育園を充実させるための計画は低予算で、現施設や J A 旧福田支所の建物などを最大限活用していくべきである。今の 計画ではなく、再検討をするべきではないか (2) 多子世帯の保育料軽減策を市で早期に対応すべきではないか (3) 子育てしやすいまちを目指すのであれば、保育料の値上げはす るべきではないと考えるが、保育料の負担軽減策は (4) 保護者負担金等が負担となり学童保育（放課後児童クラブ）に 行けない子どもに対する市の支援策は (5) 子育て支援施策の充実の一つとして、学校給食費の軽減を行う ことはできないのか | 市 長 教 育 長 担当部長 |
| | | 3. 公共交通について | (1) 地域の要望を聞いていくための具体的な計画は | 市 長 担当部長 |

| 発言 順序 | 議席番号 氏 名 | 質 問 事 項 | 質 問 の 要 旨 | 答 弁 を 求 め る 者 |
|----------|--------------|--------------------------|---|----------------------|
| 13 | 14 番 石原芳高 | 1. 協働のまちづくりについて | (1) 被災地へ支援物資等を輸送するのに、災害派遣等従事車両証明などの制度はあるが、一般市民の利用にはハードルが高い。ボランティア活動を行う市民の方に対する支援の考えは | 市 長 担当部長 |
| 14 | 19 番 室崎陸海 | 1. 歴史、伝統、文化の保存・継承について | (1) 地域の祭り等は今後どうしていくのか (2) 遺跡等の整備をして、観光と歴史、文化の学習支援に役立てては | 市 長 教 育 長 |
| 15 | 15 番 馬場政教 | 1. 鳥獣被害対策のさらなる充実について | (1) 鳥獣被害防止対策協議会が設置されたが、鳥獣被害防止総合対策交付金の準備はどのように進めていくのか (2) 担い手の確保と実効性を高める観点から、鳥獣による農村水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律（鳥獣被害防止特措法）に基づいて鳥獣被害対策実施隊を設置してはどうか (3) 独立した部署を設置してはどうか | 市 長 副 市 長 担当部長 |
| | | 2. 民間企業を利用した事務事業の効率化について | (1) 自動交付機等の導入も含め、外部委託、民間委託により証明書の発行等を行ってはどうか (2) コンビニやネットバンクを利用した証明書の授受、公共料金の支払い等の制度導入が必要ではないか | 市 長 副 市 長 担当部長 |
| | | 3. 公共交通について | (1) 公共交通を具体的に実施していく上で、公共交通を必要とする交通弱者の分布や人数はどのように把握するのか | 市 長 副 市 長 担当部長 |
| | | 4. 観光行政について | (1) 観光施設のある地区の公共の駐車場不足をどのように改善するのか | 市 長 副 市 長 担当部長 |

| 発言 順序 | 議席番号 氏 名 | 質 問 事 項 | 質 問 の 要 旨 | 答弁を 求める者 |
|----------|--------------|------------------------|--|-------------------------------|
| 16 | 13 番 小野田光 | 1. 裳掛児童館の耐震について | (1) 裳掛児童館は耐震化が施されておらず、いつ起こるとも知れない地震に備えるためにも早急に対処すべきだと考える。市としての見解は | 市 長 副 市 長 担当部長 |
| | | 2. 小規模特認校について | (1) 市内においては小規模の小学校が複数あるが、きめ細かな特色のある学校運営を行い、子どもたちの個々の個性や学力を伸ばすためにも本市において「小規模特認校」制度を活用してはどうか | 市 長 副 市 長 教 育 長 担当部長 |
| | | 3. 本庁舎の統合について | (1) 合併から 10 年が過ぎ、市としての一体感も醸成されたと思われる。そうした中で本市においては、合併前の決めごとであった分庁舎方式での行政運営であるが、市民から不便である、行政効率が悪い等の意見も多く聞くようになってきた。将来を見据えた本庁舎のあり方についての見解は | 市 長 副 市 長 担当部長 |
| 17 | 6 番 川野泰一 | 1. スポーツ振興について | (1) スポーツの振興にはスポーツ関連施設の整備が必要だが、現状と課題は | 市 長 教 育 長 担当部長 |
| | | 2. プレジャーボート係留場所の整備について | (1) 錦海塩業跡地にプレジャーボート係留場所を整備し、周辺に駐車場やトイレを整備できないか | 市 長 担当部長 |
| | | 3. 市道の拡幅について | (1) 住宅地内の道路に待避場所を整備する考えは | 市 長 担当部長 |
| 18 | 20 番 中村勝行 | 1. 市長の政治姿勢について | (1) なぜ今回市長等の給与の特例に関する条例を提案しなかったのか (2) 火葬場整備について、もっと市長のリーダーシップを発揮すべきではないか | 市 長 |
| | | 2. 未利用地の活用について | (1) 牛窓の旧民俗資料館跡地とその南側にある土地の有効活用をどのように考えているか | 市 長 副 市 長 |